

デザイン人材確保のための大学連携事業始まる

「デザイン人材確保ネットワーク形成事業」は、デザイン振興のための施策として実施しました。デザイン系大学の教員とのネットワーク形成と、デザイン系学生と企業とのマッチングによって、県内企業のデザイン人材確保をサポートすることを目的に、2016年度からスタートしました。東京でのスキームづくりの会議(7月)を皮切りに、9月には首都圏などの大学教員9名による県内企業訪問と企業関係者との意見交換会、10月から1月にかけて県内企業と大学による産学官連携のデザインワークショップが開催されました。2017年度以降は、県内企業とデザイン系大学学生とのマッチングを支援していく予定です。

意見交換会 [期日] 2016年9月3日(土) [会場] 富山国際会議場 2階205会議室

9名のデザイン系大学教員と県内企業8社(9名)との意見交換会が開催されました。参加各社の現状説明が行われ、知名度不足による人材の採用難や、ブランド開発を東京などのデザイナーにアウトソーシングしている現状、デザイン系人材活用の将来展望などが語られました。

次いで大学教員から、前日に行われた企業訪問の感想、自校のデザイン教育と就職の現状などが報告されました。

会議を通じて、地方企業と学生との交流の必要性、企業情報や求める人材情報、さらには豊かな生活環境の情報などを発信していくことの重要性などを確認しました。



第1回ネットワーク形成会議(東京会議)

[期日] 2016年7月30日(土) 14:00~16:00

[場所] G.Itoya 10階 Handshake Lounge(東京都中央区銀座)

4分野のデザイン系大学(工業デザイン、システムデザイン、建築/インテリア、クラフト/アート)の教員12名を招き、今後のスキームづくりのためのキックオフ会議を開催しました。県内企業のデザイン系人材への期待を伝えるとともに、昨今の学生の働き方や就職活動、企業のリクルート活動へのアドバイスなどをお聞きしました。



第2回ネットワーク形成会議(富山会議)

企業訪問 [期日] 2016年9月2日(金)

県内のデザインと関わりの深い企業・財団4社を訪問。ものづくり現場を見学し、経営者や従業員の方々との交流を通して、デザインにかける思いやデザイン人材への期待などについて語り合いました。

株式会社 二上

最初に訪れたのは、高岡市の真鍮鋳物メーカー(株)二上。社長・二上利博氏の案内で工場を見学。同社のブランドである「FUTAGAMI」[MATUREWARE]の開発経緯やコンセプト、経営方針などについて説明を受ける。



一般財団法人 五箇山和紙の里

次いで、南砺市五箇山の(一財)五箇山和紙の里を訪問。和紙原料の「こぞ」栽培畑や和紙工場、経産省認定の「The Wonder500」にも選定された和紙ブランド「FIVE GOKAYAMA」などを見学。



富山ガラス工房

富山ガラス工房・富山ガラス造形研究所に立ち寄り、ガラス作家育成のための教育および卒業後の自立のためのフォロー体制などを視察。



株式会社 山田写真製版所

最後に訪れたのは印刷の(株)山田写真製版所。工場見学の後、同社社長や技術者などと懇談。日本を代表するクリエイターたちが指名し仕事を発注してくる同社の製版・印刷技術と、それを支える「人材力」について説明を受ける。



産学官連携デザインワークショップ

[期日] 2016年10月3日~2017年1月30日(15週間)

月曜日 13:00~14:30

[場所] 富山大学芸術文化学部

1F コミュニケーションルーム(高岡市二上町)等

企業と学生が具体的な商品開発に取り組むことで互いの理解を深め合う一そんな目的で開催されたデザインワークショップ。第1回目となる今回のテーマは、靴下・レグウェア製造販売の助野(株)(高岡市)と富山大学芸術文化学部の学生のコラボレーションによる「ギフト用靴下」の開発。12グループ23名の学生が助野(株)の協力を得て、コンセプト開発から試作品づくり、売り場イメージづくり、商品紹介ムービーづくりまでを行いました。

